

せたばん寄席

演目

一、**麴家ぞら馬め**
うすのぶやまめ
 〆落語 まんごころんわら



二、**麴家サプライズ**
うすのぶやまめ
 〆落語 がまの油



三、**麴家智鹿**
うすのぶやまめ
 〆落語 もら半分



四、**おとむ家蛸蔵**
おとむやたけい
 〆落語 鮎のこ

中入り
横須賀 梨樹
よこすかりき
 〆律 軽笛

五、**丸ののち**
まるののち
 〆お祭こみ漫才



六、**麴家笑**
うすのぶやまめ
 〆落語 お節徳三郎



七、**麴家笑竹**
うすのぶやまめ
 〆落語 お直こ



一人きりで、扇子と手ぬぐいだけを使って何人もの役を演じ分け、更に笑いもとることに感銘を受け落語の道に。好きな落語家さんは、6代目三遊亭圓生さん。高座名には、笑い上戸なのと、自分だけでなく、お客様も笑顔にしたいという思いがこもっているそう。



福岡県福岡市出身、世田谷区大蔵在住。落語を始めた動機にははっきりしたものがなく、魔がさしたように麴町落語塾に通い始めた。よほど水があつたのかその後はめきめきと頭角を現し、以来落語づけの毎日を送っている。古典落語の世界観をこよなく愛しているが、鑑賞用ではなくもっと生きた話にするためアマチュアならではの既成にとらわれない大胆な解釈で切り取り、客席を笑いと感動の渦に巻き込む。プロの落語家から感心するほど変な人だともいわれ、一度見たらファンになってしまう人も多い。



群馬県高崎市出身。千葉県流山市在住。下北沢のお笑いライブで落語を聞いて以来、落語の魅力に取り憑かれ、勢い余って2013年秋に麴町落語塾に入塾。その後高座に上がる楽しさの虜になり本日に至る高座名の由来は「音が可愛かったから」。その為、特別そら豆が好きなのではなく、どちらかという枝豆の方が好きである。



アマチュア向け落語塾「なまらく落語教室」にて立川談修師匠に師事をする。豪快な見た目通り、聞かせるよりも魅せる落語を得意とし、そこはかとなく滲み出る人の良さに虜となるファンも多い。私生活では2児のパパ、子ども受けは抜群!



おもしろくて、何だかちよいと様子がいいアマチュア落語家を目指して日々奮闘中!! お客さまの思い出に残る落語会になるよう頑張ります!!!

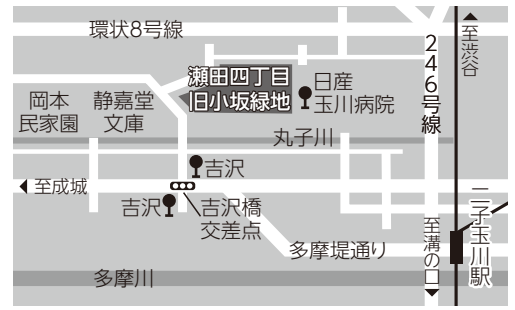


演劇の道を志し、その為の勉強として落語を学び始めたが、いつの間にか落語の沼にズブズブとはまってしまった脱線系女子。好きな落語家さんは桂伸三さん。

お問い合わせ 瀬田四丁目旧小坂緑地利活用検討会議事務局
 〈NPO法人 せたがや水辺デザインネットワーク〉 info@mizubedesign.org 080-3007-5413 (村上)
 瀬田四丁目旧小坂緑地利活用の取組みく 世田谷区みどり33推進担当部公園緑地課施設管理担当

- 世田谷区立瀬田四丁目旧小坂緑地 東京都世田谷区瀬田4-41-21
 アクセス 〈バスを利用の場合〉
 ・東急田園都市線「二子玉川駅」より:成育医療センター行き「玉31」、美術館行き「玉32」→「日産玉川病院」下車、徒歩2分
 ・小田急線「成城学園前駅」より:二子玉川駅行き「玉07」→「吉沢」下車、徒歩7~8分

せたばんフィールドミュージアム <http://www.re-forest.com/seta4/>



主催:せたばん・瀬田の本棚

このプログラムは、世田谷区が運営する「瀬田四丁目旧小坂緑地利活用検討会議」の選定を受けて実施するものです。